



大学の変遷と今後の発展に向けて

療養支援看護学領域 がん看護学分野 教授 田中 京子

白鳥会の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。私が大阪に赴任したのは、1993（平成5）年4月で、当時帝塚山にあった大阪府立短期大学の最後の年でした。1994（平成6）年4月には大阪府立看護大学看護学部と短期大学部が羽曳野の地で新たにスタートしました。当時は、人間の五臓六腑を形取った斬新なレイアウトの校舎と、動脈と静脈をイメージしたピンクとブルーのカラーが印象的で、訪れる人の目を引いたものでした。翌年の1995（平成7）年1月に阪神淡路大震災が発生し、当時新大学に集った教員たちから声があがり、ボランティア活動をするために多くの教員が梅田から灘にいたる道を徒歩で移動して、避難所における保健・救護活動を熱心に行いました。本学の実践を大切にする精神は、このときから息づいているといっても過言ではありません。

1998（平成10）年4月には大学院修士課程が開設され、2年後の2000（平成12）年には、博士前期課程に続く博士後期課程がスタートしました。今でこそ博士後期課程をもつ看護系大学院は99校にのびますが、当時は11校しかなく、本学は看護学の高等教育をいち早く取り入れた大学でもありました。同時に専門看護師（CNS）コースも新たに設置されて、本学は看護学研究に取り組む研究者養成と、高度実践を担う看護師養成というミッションに取り組んできました。その後大阪府立大学短期大学部は閉校となり、2005（平成17）年には、大阪府立大学、大阪女子大学、大阪府立看護大学が統合・再編され、公立大学法人大阪府立大学となりました。大阪府立看護大学は「看護学部」として7学部の一つとなり、キャンパスの名称も大阪府立大学羽曳野キャンパスとなりました。2012（平成24）年には、4学域（現代システム学域、工学域、生命環境科学域、地域保健学域）13学類体制となり、看護学部は地域保健学域看護学類となりました。そしていま、大阪府立看護大学開学から27年目を迎え、大阪府立大学はさらに発展しようとしています。

新聞などの報道で皆様もご存じの通り、2019（平成31）年4月から公立大学法人大阪という新たな法人が誕生し、大阪市立大学、大阪府立大学工業高等専門学校、大阪府立大学がその傘下に入りました。新法人では大学統合を目指した討議が行われており、2022年（令和4）年4月に新たな大学へと生まれ変わろうとしています。公立大学法人大阪は、2019（令和元）年8月には新大学基本構想案を大阪府・大阪市に提案し、2020（令和2）年1月には、大阪府・大阪市・公立大学法人大阪の3者に

よる「新大学基本構想」が取りまとめられました。この新大学基本構想によると、新大学は両大学の同種の分野を集約することを基本とした上で、新たに情報学研究科を設置するとともに、農学部・研究科、獣医学部・研究科、看護学部・研究科を独立させ、1学域11学部15研究科を擁する総合大学となります。新大学の組織を話し合う中で、看護は医学部に所属する可能性もありましたが、学問として自立するという考えのもと、「看護学部・看護学研究科」を主張して、それが実現した形になります。現時点では、看護学部の定員は160名、看護学研究科の定員は50名と想定されています。大学全体の学部入学定員は2,853名となり、国公立大学の中では大阪大学、東京大学に次ぐ日本第3位となります。教員数は大阪府立大学732名、大阪府立大学641名が合わさった1,373名で、国公立大学の中では12位の規模となる予定です。

新大学は大阪の発展を牽引する「知の拠点」をめざしており、そのために理系・文系・医療系の幅広い学問体系を擁する総合大学として教育、研究、社会貢献の3つの機能をさらに充実させるとともに、都市シンクタンク機能と技術イノベーション機能の2つを備えることで、大阪の都市課題の解決や産業力強化など、大阪の発展に貢献し、さらには、4つの戦略領域（スマートシティ、パブリックヘルス/スマートエイジング、バイオエンジニアリング、データマネジメント）について、重点的に取り組んでいこうとしています。また市大・府大両大学の強みを活かし、国際競争力の強化を目指す取り組みを展開しようとしています。

現在は、大阪市立大学と府立大学との教職員が、新大学設置に向けての組織やキャンパス、カリキュラム構築に向けての話し合い等を進めているところです。大阪市立大学は2020年に創立140周年を迎えます。大阪府立大学は2013（平成25）年に創基130年、2023年には創基140年を迎えます。何れも長い歴史をもつ2つの大学が統合しようとするのですから、今までの歴史の中で培われた価値や考え方が厳然として存在し、それらを融合させていく作業は決して平坦な道ではありません。しかし、いつかは一つの大学として新たな発展を遂げていけるものと信じています。大学統合は同窓会組織においても大きな課題を含む出来事ではありますが、新たな発展・成長に向けてネットワークを広げていけることを祈っています。



会長挨拶

看護学部6期生・大学院博士前期課程13期生 浅井 克仁

白鳥会会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

私は真砂前会長の後を継いで、2019年度より大阪府立大学看護学系同窓会白鳥会会長を務めさせていただいております。毎年新たな会員をお迎えし、ますます活気のある会へと成長しております。皆さまのお力添えのおかげで、昨年度には創立20周年を迎えることができました。至らない点も多々あるかと存じますが、少しでも会員の皆さまのお力になれるよう取り組んでまいります。

大阪府立大学は今年度より大阪市立大学と法人統合し、新大学法人としての新たなスタートを切りました。同窓会としても今後のあり方を検討中であり、これからも会員の皆さまにとって心安らぐ同窓会であり続け

られるよう貢献したいと考えております。

白鳥会は2年に1度総会を開催しており、2020年には第17回の総会を予定しております。皆さまお忙しいことと存じますが、是非ともご参加いただき、同級生や恩師との再会、先輩後輩での交流の場として楽しんでいただきたいと思います。お子様とご一緒でもご参加いただけるよう、保育室を準備しております。皆さまのご参加をお待ちしております。

今後も役員一同、会員や在学生の活動のサポート、会員同士のネットワークづくりに貢献して参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

大阪府立大学看護学系同窓会（白鳥会） 第17回同窓会総会のお知らせ

2020年9月12日 土曜日 ホテルグランヴィア大阪にて、第17回同窓会総会を予定しております。

講師や時間など詳細が決まり次第、別途郵送にてお知らせいたします。

皆様のご出席をお待ちしております。



アクセス

JR大阪駅中央口よりすぐ
新幹線新大阪駅JRで約5分
関西国際空港JR関空快速JRで約60分
大阪国際空港お車で約30分



2019年度に就任された先生方からのご挨拶



生活支援看護学領域
地域看護学分野

教授 都筑 千景

2019年4月に生活支援看護学領域地域看護学分野の教授として着任いたしました都筑千景と申します。私は大阪府立大学看護学部的前身である大阪府立看護短期大学の卒業生であり、また教員として最初に勤務した大学でもあることから、今回の着任には深いご縁を感じています。

近年の少子高齢化に伴い、少子化においては「妊娠期からの切れ目ない支援」、高齢化においては「地域包括ケアシステムの構築」という大きな取り組みが地域で推進されています。地域看護学分野は主として保健師基礎教育を担当していますが、これらの取り組みには看護師の協力と理解が非常に重要です。そのため、看護基礎教育においても学生がさまざま

生活支援看護学領域
在宅看護学分野

教授 三輪 恭子

白鳥会の皆様におかれましてはますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。2019年4月より生活支援看護学領域在宅看護学分野に着任いたしました、三輪恭子と申します。

私は2004年に大阪府立看護大学大学院博士前期課程在宅看護学分野CNSコースを修了し、2005年より地域看護専門看護師として活動してきました。CNSとして早や15年目を迎えました。急性期病院の退院支援や地域のネットワークづくり、そしてまちづくり会社の立ち上げ・運営に奔走し、あつという間に過ぎた感があります。

地域看護CNSの対象は、地域で暮らすすべての人びとであり、私にとっての「顧客」は患者や住民だけでなく、病院のスタッフや地域の関係機関で働く人びと、行政や手ごわい医師会・・・等々でした。彼らが病院や医療に求めているものは



基礎看護学領域
看護技術学分野

准教授 相原ひろみ

2019年4月に基礎看護学領域基礎看護技術学分野に着任いたしました。3月に大阪府立大学の大学院を修了したばかりで、母校の縁で再び府大に通う身となりました。どうぞよろしくお願いたします。

基礎看護技術は、看護職を目指す学生が、知識と技術を身につける学問ですが、その際の態度も大事だと考えています。元気さや明るさや楽しさなど、看護を前向きに実践しようとする姿勢が患者さんに伝わっていると思っています。実技テストが大変とか筆記試験が大変とか、よく耳にする（この原稿を書いている1週間後に実技試験が・・・汗。学生さん、頑張れ♪）ことですが、確かな技術を身につけた看護職は、患者さんに信頼される存在となります。学生のうちは実習に行ってもできないことが多くて実感しにくいかもしれませんが、卒業してから「練習しておいて、勉強しておいてよかった」と思う日がくると思います。



家族支援看護学領域
家族看護学分野

講師 井上 敦子

2019年4月に家族支援看護学領域家族看護学分野に着任いたしました井上敦子と申します。私は、大阪府立看護大学医療技術短期大学部を卒業後、総合病院に勤務し、

まな形で地域に理解を深めていけるよう工夫しながら、地域の方々健康を支えていける看護師の育成に努めていきたいと思っております。

保健師教育におけるトピックスは、今年の保健師指定規則の改正により、保健師国家試験受験資格取得のための単位数が28単位から3単位増え31単位になったことです。社会の多様性、そして健康格差が広がる中、保健師としての専門性がますます求められていると感じています。保健師の現場でさまざまな課題に直面し、大学院に進学される卒業生も増えてきており、これからの地域保健の中核を担える人材育成は、保健師教育に長い歴史を持つ大阪府立大学においては重要な役割であると思っています。その責任の重さに身が引き締まる思いですが、白鳥会の皆様のお力も借りながら、大阪の保健師教育に貢献できるよう尽力していきたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願申し上げます。

なんだろう？ 看護に期待していることはなんだろう？ どうしたらもっとうまく関わり合えるのだろうか？ どうしたらもっと…？

もちろん、私ひとりでは何かができるわけではありません。仲間や味方をつくる、上司に理解してもらい、作戦を練り時期を見極める、粘り強く交渉する・・・といった地味で地道な活動の積み重ねです。賽の河原で石を積んでいるような気持ちになったことは幾度となくありました。それでも、焦らず諦めずに活動を続けられたのは、地域のなかでの看護の可能性を信じているからかもしれません。

地域共生社会において「生活を支える」看護が求められるなか、在宅看護分野は訪問看護にとどまらず、外来における生活管理やコミュニティヘルスケアを含有し、ますます重要性を増しています。大学院時代の学び、そしてCNSとしての経験を、これからの看護人材の育成に活かすことができれば嬉しいですね。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願申し上げます。

実習でお世話になった看護師さんから、「実習指導がどのように学生を成長させているか、どのように学生は変化しているのか知りたいです。実習のその後の様子って、いかがですか？」と聞かれることが時々あります。実習の前後を知る教員としては、「そりゃもう成長してます。実習に行く前と行ったあとでは、大違いです」とお伝えしています。大袈裟でも誇張でもなく、「経験が人を成長させてくれる」というのを目の当たりにしています。実習に行っている最中は、朝は早いし遅刻は厳禁だし、実習記録をまとめないといけないし、と課題に焦りますが、その経験が、学生を確実に成長させてくれます。基礎看護学を担当していると、1年生から4年生まで縦断して関わるので、学生の成長を間近で見せてもらえる特等席のように感じることもあります。

18歳からの4年間という、成長著しい時期に教育に関わらせて頂く幸せを、学生さんたちへの教育に還元したいと日々思っています。

白鳥会の皆様、学生の皆様、この府立大学の（もうすぐ新大学です）今後を、ご一緒に見守っていきましょう、どうぞよろしくお願申し上げます。

小児病棟・新生児集中治療室で看護を実践してまいりました。重度の障害をもつ子どもたち・ご家族とのかかわりを通し、「物言わぬ子どもにとっての最善とは何か」「子どもも含めた家族として育っていくために、私たちにできることはないのだろうか」と葛藤するなかで、家族看護と出会いました。

それぞれの家族の歴史や抱える思いに理解を深め、その家族らしい未来について共に考えることで発揮されていく家族の力に、家族看護の醍醐味と必要性を強く感じ、本学専門看護師コー

スに進学しました。家族支援専門看護師の認定を受けてからは、小児・周産期領域だけでなく、所属する施設や同系法人内を横断的に活動してまいりました。療養の場が病院・施設から地域へと移行していくなかで、療養者を含めた家族をエンパワメントする意義は高まっています。看護師だからこそ気付くことができる家族の力や変化を捉える視点、日々の小さなかわり



生活支援看護学領域
地域看護学分野

講師 大野 志保

2019年4月より生活支援看護学領域 地域看護学分野に着任し、養護教諭養成課程を担当しております大野志保と申します。

私は臨床での看護師経験を経て、養護教諭となり特別支援学校と高等学校に勤務しました。養護教諭として高等学校に勤務していた際に、生徒を亡くす経験をしました。この経験から、学校が危機的な出来事に遭遇した場合に養護教諭に求められる役割は非常に多岐にわたることを学び、学校での死亡事故をテーマとした研究に取り組んでおります。

ところで、諸外国にはスクールナースに代表されるような養

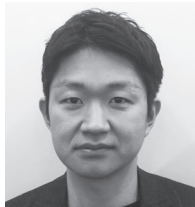
護の重要性など、看護の未来を担いゆく学生の皆様にお伝えできるよう努めてまいります。

短期大学部時代は自転車で走り抜け、大学院時代には見渡す余裕もなかった羽曳野の四季の移り変わりを感じながら、私自身も看護を探究し続けていきたいと思っております。

ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

護教諭に類似する職業がありますが、法律のもとで教育職員として位置づけられ、多様な制度で養成される養護教諭は、日本独自の職業です。看護師免許を基礎資格としないことを特徴としていますが、養護教諭は、学校看護婦をルーツとしていることから学校現場で求められる看護能力には、依然として高い期待があります。近年では、子どもたちの健康課題が複雑化・多様化しており、細やかな配慮がますます必要となってきました。また、慢性疾患やアレルギー疾患を持つ子どもたちも増加し、個々へのきめ細やかな対応には、看護学の知識や技術が欠かせません。このような一般的な看護に加えて、学校という教育の場の背景や特徴を踏まえた看護が展開できる養護教諭を養成できるよう努力して参ります。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



療養支援看護学領域
感染看護学分野

助教 喜田 雅彦

2019年4月より療養支援看護学領域 感染看護学分野の助教に着任いたしました喜田雅彦と申します。私は旧大阪府立看護大学を卒業後、大阪府立中河内救命救急センターに勤務し、院内感染対策に従事する経験を経て、大阪府立大学大学院博士前期課程に進学し、感染看護学を学びました。

卒業後も救命救急の分野で感染管理業務に従事しながら、救命

救急センターに運ばれてくる患者さんの看護に関わるうちに、例え生命の危機を乗り越えて退院できたとしても、生涯にわたり重症感染症のリスクが残ること、そのために看護としてどう関わることができるのかについて考えるようになりました。潜在的な重症感染症のリスクを持った患者さんへの看護実践を行う方略や救急・集中治療領域における感染管理活動に資する研究をすすめていきたいと考えています。また患者さんを守るために、手指衛生を基本とした感染対策がとても大切であることを学生に伝えることができるよう尽力して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

大学院案内

■ 大学院で進化したスペシャリストを目指しませんか？



大阪府立大学大学院看護学研究科博士前期課程には、修士論文コース（4領域15分野）、専門看護師コース（3領域9分野）があります。博士後期課程は2領域10分野から構成されています。多くの大学院生が、高度な看護実践能力を備えた看護のスペシャリストや研究者を目指して学んでいます。母校の大学院に戻り、キャリアアップを図ってみませんか？

2020年度大学院入試説明会は春と秋の2回開催いたします。慣れ親しんだ母校にぜひ足を運んでください！



第1回

日時：2020年5月23日（土）
13：30～15：15（受付13：00～）

会場：大阪府立大学羽曳野キャンパス

内容：第1部（13：30～14：15）

カリキュラムの概要説明

第2部（14：15～15：15） 分野別相談会

第2回

日時：2020年10月3日（土）
（時間は後日、HPでお知らせいたします）

会場：大阪府立大学羽曳野キャンパス

内容：第1部 カリキュラムの概要説明

：第2部 分野別相談会

■ 大阪府立大学大学院看護学研究科・看護情報学分野 大学院の案内

自身が関心を持っている臨床、職域、地域の課題に関して、関連する要因を明らかにすること、介入効果を検証することはとても重要で、EBN（エビデンスに基づいた看護）、EBHC（エビデンスに基づいた保健活動）につながります。

看護情報学分野では、疫学的研究手法を用いた量的研究により、関連要因の検証や、介入効果の検証などを行います。看護情報学の課題（情報ニーズ、ヘルスリテラシー、看護記録データや健康診断データなどの看護保健情報の活用、予防行動や療養行動に関連する要因の検証、など）に関心がある方はもちろんのこと、量的研究の実践力を身につけたいという方を歓迎しています。

看護情報学分野のHP



白鳥会看護研究助成

● 白鳥会看護研究助成のお知らせ

白鳥会では、臨床で研究に取り組んでいる方、これから始めようとしている方を応援しています。令和2年度分の看護研究助成の詳細については、決まり次第HPに掲載いたします。皆様のご応募をお待ちしております。

● 2018年度研究助成研究報告

独立行政法人 国立病院機構 大阪南医療センター

赤井 悠

昨年度、博士前期課程在学中に白鳥会看護研究助成をいただき、ありがとうございました。私は「2人介助における車椅子・ベッド間の移乗時の介助者の腰部負担」というテーマで、事前に移乗方法について教育を受けた身長差の少ない2名での移乗介助を人力のみで実施した場合の腰部負担を、Chaffin et al (2006) が示す方程式を用いて椎間板圧縮力を算出することにより評価しました。また、各移乗介助時の主観的評価を測定することで実際の腰部負担と

主観的評価との関連を調べました。その結果、腰部負担の指標となる椎間板圧縮力3400Nを上回った人が2名おり、どれほど移乗時の環境を整えたとしても、人力での移乗介助では腰部負担が発生しうることが明らかとなりました。また、椎間板圧縮力と主観的評価には相関関係がみられず、実際には腰部負担が大きいかにも関わらず、負担感を感じていないことも示唆されました。看護師の腰痛については長年問題視されており、移乗時には移乗補助具の使用等が指摘されていますが、臨床現場では浸透していない現状があります。今後臨床において、少しでも腰部負担が軽減できる方法を具体的に検討していきたいと思えます。

看護学研究科博士後期課程 慢性看護学分野

浅井 克仁

この度は博士前期課程在学中に白鳥会看護研究助成をいただき、誠にありがとうございました。修士論文では、「慢性心不全患者の病気認知と求助行動との関連」をテーマに、外来通院中の慢性心不全患者様を対象に質問紙調査と診療録調査を実施しました。Common-Sense Modelを参考に調査の枠組みを作成し、患者の病気に対する認識（病気認知）と症状出現時に受診するかという意味（求助行動）との

関連を調査しました。その結果、病気認知における「医療への信頼感（治療に対する効果の認識）」が安静時呼吸困難出現時の求助行動に関連することが明らかになりました。このことから、患者が治療に対する効果を認識できるよう患者教育を行うことにより、安静時呼吸困難出現時の求助行動が促進されることが考えられました。患者様が日々の生活のなかでより良く病気と向き合えるような支援ができるよう更なる探求の必要性を実感しました。本研究助成による支援を糧に、今後も研究活動に邁進し、より良い患者ケアの探求に努めていきたいと存じます。

看護学研究科博士前期課程2018年度修了

廣地 彩香

この度は博士前期課程在学中に白鳥会看護研究助成を頂き、ありがとうございました。学会発表や論文投稿の際に、研究助成を活用させて頂きました。

修士論文では、「会食会に参加した独居高齢者の栄養状態の実態と身体的要因、心理社会的要因との関連」をテーマに、会食会に参加されている皆様を対象にアンケート調査を実施しました。独居高齢者の低栄養状態と身体的要因、心理社会的要因の関連を検討しました。身体的要因については、糖尿病をもつ高齢者に対し低栄養予防を意識づけること、嚥

下咀嚼機能低下を予防するために、地域で嚥下体操を取り入れることが低栄養予防につながる事が明らかになりました。心理社会的要因では調理の自立や友人との交流が低栄養状態に結びつくことが示され、料理教室や会食会等の社会参加を促すことが重要であると考えました。加えて経済状況も関連が見られ、比較的安価に利用できる配食サービスなどの事業といった社会資源の充実も必要な視点であると考えました。これらから支援を行う上で、対象者の背景や生活を知ることがとても重要だと改めて学びました。今後も実践や研究を通し、対象者に寄り添った支援について考え続けたいです。

白鳥会会報誌第20号、

おめでとうございます。

大阪府立大学 校友会会長 津戸 正広

白鳥会のみなさんには、日々大いにご活躍のことと
思います。大阪府立大学の全学同窓会である校友会は、
白鳥会をはじめ多くの同窓会のご支援をいただいで
います。白鳥会会長の浅井克仁様には、校友会副会長と
して校友会の発展に貢献していただき、ありがとうございます。

大阪府立看護大学、大阪府立大学看護学部、看護学
類、看護学研究科の学生・卒業生・修了生のブランド
力は極めて高く、国家試験の合格率も群を抜いていま
す。白鳥会のみなさんのご活躍により大阪府大のブラ
ンド力がさらに高まっています。これからも同窓会相
互の協力により、より一層大学の存在価値を高めてい
きたいと思います。

校友会では、(1)ホームカミングデーの実施、(2)校友
懇話会、(3)就職セミナー、(4)白鷺賞副賞の贈呈、(5)ビ
ジネスアイデア・コンテストでのグランプリ校友会賞
の贈呈、(6)地域同窓会・単位同窓会の支援、(7)「夢こ
もんず」の開催、(8)古本プロジェクトなど多面的な活
動を行っています。

2019年11月のホームカミングデーでは、午前中に
辰巳砂学長による「新大学について」という説明会が
開催され、統合後の新大学についての説明に多くの同
窓生が耳を傾けました。同時並行的に「ビジネスアイ
デア・コンテスト本選会」が開催され、学域生・大学
院生らが個性的なアイデアをアピールしました。午後
には体育館の2階において「ウェルカム・パーティー」
が開催され、地域同窓会などの併設展示の紹介、ビ
ジネスアイデア・コンテスト表彰式、府大マルシェ・レ
シピコンテスト最優秀賞受賞の山本麻衣さんによるス
ピーチ、留学生エマヌエルさんの流暢な日本語による
講演、全員での3大学学生歌斉唱、エヴァコールによ
る合唱、応援団による演舞とエール、そして何よりも
同窓生どうしの歓談を存分に楽しみました。

現在、大学統合に向けての準備が着実に進められて
いますが、今こそ各同窓会の連携を深めることが期待
されています。白鳥会のみなさんと校友会との絆がま
すます強くなりますよう、よろしくお願いたします。

一歩一歩着実に

東京同窓会 会長 山田 昭正

昨年2月の東京同窓会新年会には奥田先生、上野
先生、杉本先生と白鳥会からは真砂会長、前田前会
長にご参加頂きました。残念ながら東京在住の会員
の方の参加はありませんでしたが、是非先生方や卒
業生同士の交流の場として東京同窓会をご活用下
さい。

昨年の会報で看護大学OGの下田佳奈さん（聖路加
国際大学）の海外での活躍を紹介させて頂いたとこ
ろ是非直接お話が聞きたいとの声が上がりました。
下田さんに東京同窓会がふた月に一度開催してい
る中もず会での講演をお願いしましたら快く引き受
けて頂きました。

講演は「妊娠・出産の現場からみた発展途上国の
今 ～インド・タンザニアでの経験から～」と題し、
発展途上国であるインドやタンザニアでの助産婦体
制の改善指導のお話で、世界では、妊娠・出産を理
由に毎日800人程度の女性が亡くなっており、それ
は国際線の飛行機2機分の乗客数に等しい数であ
り、毎日墜落していることを想像するとその悲劇が
いかに大きなものであるかが分かります、と

のお話に驚きました。

会場には東京同窓会の会員のみならず府大のOB
が教師をしている日本医療科学大学や東京医療保健
大学の学生らも参加、下田さんの海外での活躍を熱
心に聞いて将来の進路の参考にしたいとの感想を述
べていました。

このように一歩一歩着実に白鳥会との関係を築い
ていきたいと思います。白鳥会の浅井新会長や顧問
の杉本先生や上野先生の後任の田中先生との連携を
密にし白鳥会のネットワーク作りのお手伝いが出来
れば幸甚です。



温故知新



大阪女子大学同窓会斐文会 理事長

富田 久子

2019年のトピックは、何といても、『令和』の考案者が大阪女子大学の元学長である中西進先生(1997～2001年)だったこと。驚きとともに、元号に近い存在となりました。日本最古の万葉集からの引用で、「人々が美しい心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められている」という趣旨に、安らぎ、気持ちが引き締まりました。

ところで、大阪女子大学は、目的及び使命を「専門の学芸を教授研究し、人格を陶冶して、女性文化の向上を期し、民族及び人類の福祉に寄與し得る人物を育成すること」として、公立女子大学の稀な時代に、4学科(国文学科、英文学科、社会福祉学科、生活理学科)から成る大学として設置。当時は「女性は男性の補助」という社会の中、画期的なことでした。



が、様々な背景の中、3府立大学(旧府立大学・看護大学・我が女子大学)の統合・再編に伴い、2005年に公立大学法人大阪府立大学に。以来、大阪女子大学の名称も無く、同窓会(斐文会)会員も年々減少しています。寂しい限りです。

しかし、府大の校章は、「大阪府の木であるイチョウをモチーフに3大学が統合し新たな大学となることを表し、3枚の葉には歴史ある3大学の伝統を引き継ぎ、発展する姿をイメージしている」と聞き、嬉しく思いました。

温故知新。白鳥会の皆様はじめ校友会の皆様とのつながりを大切に、大阪女子大学のルーツを忘れることなく、斐文会活動に取組みたいと思っています。宜しくお願いします。

大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会) 平成30年度会計報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

前年度繰越	8,733,179円
収 入	1,715,470円
支 出	5,879,645円
収支差引額	-4,164,175円
(平成31年度へ繰り越し)	4,569,004円

収入の部

科 目	金 額
平成30年度入学者名分 (@10,000×129人)	1,452,456
終身会費 上記以外 13名分 (@10,000×9人) (@20,000×4人)	(※終身会費の振込み手数料6,120(円)、送金料144(円)を除く)
総会参加費 (@3,000×81人)	243,000
その他 (受取利息)	20,014
合 計	1,715,470

支出の部

科 目	金 額
寄附金 杏樹祭実行委員会寄附金 100,000	100,000
研究助成金 (@50,000×4人)	200,864
総会費	2,415,709
業務委託費	489,167
会議費 (年3回実施)	48,652
消耗品費	109,120
人件費 (社会保険料含む)	1,499,686
その他 (支払手数料、式典・校友会等出席経費等)	1,016,447
合 計	5,879,645

以上の通り会計報告致します。

平成31年3月31日

大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会)

会 長 真 砂 隆 太 朗



会 計 富 田 亮 三



山 内 加 絵



平成30年度同窓会会計の諸帳簿、書類などの監査の結果、適正に執行されていることを認めます。

大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会)

会計監査 安 本 理 抄



勝 山

愛



●● 事務局からのお知らせ ●●

○白鳥会のホームページをご覧ください

皆様に同窓会の活動や母校の“今”を知っていただくために、随時、情報を発信しております。大阪府や大阪府下の自治体からの依頼で常勤・非常勤保健師や養護教諭の採用情報も掲載しております。ぜひホームページをご覧ください（QRコード参照）。

○同窓会役員を募集しています

同窓会の運営にご協力いただける方を募集しております。今後、ますます同窓会活動を発展させるためには、皆様のお力が必要です。主な仕事は、会報誌の作成、同窓会総会の企画・運営です。同窓会を発展させていくためにも、多くのアイデアをいただき楽しく運営をしていきたいと思っています。ご希望の方は、白鳥会HPからお問い合わせください。

○同窓会費（終身）未納の方へ

同窓会活動は、会員の納める会費で運営しています。未納の方には、年に1回この会報誌と一緒に納入のお願いの文書と振込用紙をお送りさせていただいております。ご協力よろしく願いいたします。

○住所や姓名変更のお願い

例年、会報誌や同窓会総会の案内を送付していますが、宛先不明の方が多くなっております。住所や姓を変更された方は、白鳥会HPから変更のご連絡をお願いいたします。母校の情報をお届けしていきたいと思っておりますので、ご協力お願いいたします。

○翔システムにご登録ください

大阪府立大学同窓会である校友会には“翔”というネットワークシステムがあり、様々な交流・情報交換が可能です。大阪府立大学校友会HP（<http://www.opucr.osakafu-u.ac.jp>）から登録が可能です。

〈白鳥会HP QRコード〉



2019年度 同窓会役員を紹介

会 長：浅井克仁
副 会 長：阿川勇太・喜田雅彦・横山紗永
書 記：野中翔太・柱谷久美子・小泉亜紀子
会 計：山内加絵・勝山愛・長野弥生
会 計 監 査：富田亮三・赤崎美美
事 務 局 長：山口舞子・真壁美香
事 務 局：真砂隆太郎・浮舟裕介・安本理抄・宇田川直子・相原ひろみ・大泉綾亮・赤井悠
田中真一・廣地彩香・前田一枝・中村雅美・根来佐由美・深山華織・高知恵

新たに就任した学年幹事

学 類：川村紗恵・北井光・初宿ほの花・平川承吾
院 生：石亀耕平・中村恵子・山崎裕美子

編集後記 柱谷 久美子

春色のなごやかな季節、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てをいただき、ありがたく御礼申し上げます。さて、今年度第17回同窓会総会を予定しております。大学統合が予定されている中での同窓会総会となり、これまでの歴史に思いをはせる機会となりますよう皆様のご出席をお待ちしております。最後になりますが、ご多用の中、会報誌にご寄稿くださいました皆様に心から御礼申し上げます。